

【調布市における福祉教育に関するアンケート調査】

1. 目的

調布市内の小中学校における福祉教育（障害理解教育）の取り組み状況や課題、今後の取り組みに向けた希望などを把握し、学校と地域、社会福祉関係者が協働して福祉教育を推進していくための基礎資料とする。

※「障害理解教育」とは…「障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指すこと」（文部科学省 HP より）

2. 実施主体

調布市障害者地域自立支援協議会「学齢期の福祉教育を考えるワーキンググループ」

3. 調査対象

調布市立小・中学校

4. 調査項目

- (1) 福祉教育（障害理解教育）の実施状況
- (2) 福祉教育（障害理解教育）を実施する上での課題

5. 調査方法

郵送調査（悉皆調査）

6. 調査期間

令和5年10月16日（月）～10月31日（火）まで

7. 取り扱い

回答内容は統計的に処理し、学校名等を公表することはありません。回答結果は本調査目的以外には使用しません。

【調布市における福祉教育に関するアンケート調査】

学校名：

回答者役職：

回答者名：

問 1-1.コロナ禍以前を含めた、貴校での福祉教育（障害理解教育）の実施状況について教えてください。実施していない場合、その理由もご記入ください。

(1)実施している

→問 1-2 以降の回答にお進みください。

(2)実施していない

理由（ ）

→問 4-1、問 4-2 の回答にお進みください。

問 1-2.福祉教育（障害理解教育）の目的やねらいをご記入ください。

()

問 2-1.福祉教育(障害理解教育)の具体的な内容や対象学年、教科・領域、時間数、協力（相談）機関について、ご記入ください。

	内容	対象学年	教科・領域	時間数	協力（相談）機関
記入例	車いす体験	4年生	総合的な学習の時間	2	市民活動支援センター（出前講座）
(1)					
(2)					
(3)					

問 4-2.福祉教育（障害理解教育）を実施するにあたって、ご意見やご要望、今後取り組んでみたい内容など、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。